

## 「違法伐採対策国際セミナー」 発表 サマリー

森林の減少は、今や国際問題となっている。森林減少の主要な原因は需要が急増するパームオイルやサトウキビ農園などへの大規模な用地転用や過度な商業伐採などであるが、違法伐採問題もこの森林減少と密接にかかわっている。

「木」に関するリーディングカンパニーである住友林業は、この問題に対処するため、これまで実践してきた木材調達の方向性を「木材調達理念・方針」としてとりまとめ、2007年6月に内外に公表した。

その具体的内容は、合法で持続可能な木材を取扱うこと、また国産材、植林木を積極的に取扱うことなどであり、それぞれに具体的な取組を実践している。

合法性木材取扱のためには、当社独自の「木材調達基準」を策定し、社内的に取扱木材・木材製品の合法性を審査する委員会を設置して、1社ずつ審査をおこなっている。

また、国産材、植林木についても取扱拡大を目標にして、各部署や海外で取組をおこなっている。

木材の合法性確認にはまだ多くの問題があり、それを抱えながら取組んでいる状況であるが、前向きに取組を進めている。

以上